

[ここに入力]

2025 年 10 月 17 日修正

## 聖マリアンナ医科大学病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	「気管支鏡を施行した超高齢肺癌患者の合併症、診断率、予後に関する検討 -後ろ向きコホート-」
研究責任医師（所属）	峯下 昌道（聖マリアンナ医科大学病院 呼吸器内科）
本研究の目的	肺癌が疑われる高齢者における診断目的気管支鏡の有用性について、3施設で共同研究を計画し症例を集積し、高齢者とより若い患者を比較し、安全性、診断率、診断後の治療や予後を比較検討し高齢者の肺がん診断目的の気管支鏡検査の有用性を確認し、また高齢者の検査後の肺がん治療導入状況や予後を詳細に検討し、高齢者の気管支鏡検査の適応基準を示すことです。
研究の方法	1. 研究デザイン：単施設、後ろ向き観察研究 2. 対象となる患者さんの期間：2018/01/01～2020/12/31 肺癌治療前に気管支鏡検査(TBLB, EBUS-TBNA)を行い肺癌と診断された 65 歳以上の方 研究期間：承認後～2026 年 3 月 31 日 研究に利用する情報：気管支鏡施行日、年齢（気管支鏡施行時）、性別、身長、体重、BMI、Charlson Comorbidity Index、喫煙の有無、喫煙歴、肺癌の発症時期、組織型、遺伝子変異の有無・種類、肺癌病期分類、Performance status、ADL、WBC、Hb、Plt、Alb、CRP、CEA、CYFRA、ProGRP、気管支鏡検査の実施時間、気管支鏡実施中及びその後の合併症、選択された治療法、及び予後
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報とは削除致します。研究成果は学会や論文等での発表を予定していますが、その際も患者さんが特定できる個人情報は利用しません。 本研究によって得られた情報も適切かつ厳重に管理されます。 なお、研究成果が論文などで公表されていた場合など、廃棄できない場合があります。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、資金源はありません。本研究に関連し特定の製薬会社等からの資金援助はありません。また開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	<p>【聖マリアンナ医科大学病院】 呼吸器内科外来 平日 9 時 - 17 時 呼吸器内科 部長 峯下昌道 呼吸器内科 研究補助 長田麗子 〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1 電話：044-977-8111</p> <p>【聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院】 田中 智士（呼吸器内科 助教） 日下部 啓子（西部病院治験管理室 看護師） 〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1 電話：045-366-1111</p> <p>【川崎市立多摩病院】 医局（内線番号 2221） 篠崎 勇輔（多摩病院 呼吸器内科 助教） 〒214-8525 神奈川県川崎市多摩区宿河原 1 丁目 30-37 電話：044-933-8111</p>
備考	<p>本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。 (2025 年 12 月 31 日まで)</p> <p>研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。</p> <p>今回ヒトゲノム、遺伝子解析等を行わず、研究対象者に影響を及ぼさないため、ご本人には結果は開示しません。</p>